

シミュレータ教育実習Ⅰ・Ⅱ

授業概要

医学生、看護学生、医師・看護師及びその他のメディカル・スタッフにシミュレータ教育の指導を行うことができる医療シミュレータ教育指導者として必要な能力を修得する。

担当教員

熊倉俊一（主担当）	教授・地域医療教育学
石橋 豊	教授・総合医療学
狩野賢二	講師・スキルアップセンター

授業の形式

実習

教育内容

1. シミュレータ教育実習Ⅰ（1年次）

学内外におけるシミュレータを用いた実習及び地域医療に関する実習を計6週間行う。シミュレータを用いた実習では、シミュレータ機器についての知識とシミュレータ機器使用についての技術を獲得するとともに、医学科のOSCE実習に教員の補助として参加し、シミュレータ教育の実際について学ぶ。また地域の医療現場で実習を行うことにより、地域の臨床教育病院におけるシミュレータ教育のあり方について学ぶ。

2. シミュレータ教育実習Ⅱ（2年次）

シミュレータ教育実習Ⅰで学んだことをもとに、さらに本学や地域臨床教育病院においてシミュレータを用いた教育実習を6週間行う。本実習では、シミュレータを用いた教育に必要なプログラムの作成方法や評価方法の修得に努めるとともに、地域の医療技術向上（大学と地域臨床教育病院との稼働、シミュレータ教育の均てん化）のための方策について学ぶ。

成績評価の方法

実習態度とレポートにより評価する。

使用テキスト・参考文献

適宜参考文献を紹介する。

教育内容（実習）

実習の詳細については別途配付する。